

10月20日投票
野洲市議選

日本共産党野洲市委員会は3月27日、10月13日告示(20日投票)の野洲市議会議員選挙(定数20)に野並享子(現)、太田健一(現)、東郷正明(新)の3氏を擁立することを発表しました。なお、現職の小菅六雄市議は健康上の理由で勇退します。

暮らし応援の野洲市政へ

切実な願いまっすぐ届けます



野並きょう子

昭和24年生まれ。京都市立堀川高校卒業。北野小学校・北中学校PTA役員、同和行政の終結をめざす会事務局長を歴任。昭和59年より野洲町議を6期。平成16年10月から市議会議員3期。北野在住。

【活動地域】北野学区、祇王学区



太田健一

昭和47年生まれ。野洲高校卒。国立鹿屋体育大学中退。スキーインストラクター。平成20年の市議補欠選挙で当選、現在2期。環境経済建設常任委員会副委員長、守山野洲行政事務組合議員。近江富士在住。

【活動地域】三上学区、野洲学区



東郷正明

昭和27年生まれ。京都洛南高校卒業。昭和46年、新日本電気入社、平成24年退職。この間、労働組合職場委員として労働者の権利と生活を守る運動に奮闘。現在、党市暮らし対策委員長。比江在住。

【活動地域】中主学区、篠原学区

消費増税と社会保障制度の改悪、TPPや原発推進など自公政権のもと暮らしと平和が脅かされています。こんな時、市民を守る市政が求められています。日本共産党の3議席は、切実な願いをまっすぐ届け、暮らしを守る確かな力です。ご支援を心からお願い申し上げます。

日本共産党の3議席は 暮らしを守る確かな力です

東郷さんとバトンタッチ

今期で議員を引退させていただきます。ただ、これにより、34年間にわたるご支援、本当にありがとうございました。東郷さんは42年間、労働者として働く人々の暮らしを守ってきた人です。私に勝るご支援を心からお願い申し上げます。



市議会議員
小菅六雄

政党助成金を受け取らない唯一の党だから住民の立場を貫けます



やす民報

日本共産党野洲市委員会
2013年3月27日 251

暮らしのご相談をお寄せください

小菅六雄 比江668-3 (電話・FAX)589-4971
野並享子 北野1-7-10 (電話・FAX)587-0985
太田健一 近江富士2-11-25 (電話・FAX)588-3169

ホームページをご覧ください

共産党野洲市議団検索

国政でも、野洲市議会でも **日本共産党** 市民の立場でがんばります

道理に基づき、しっかりと市民の切実な願いを主張

切実な願いの実現は、“国民のみなさんと考え、国民のみなさんと主張する”のが日本共産党の立場です。

TPP、消費税など公約違反の政治が横行する中、日本共産党は、道理に基づいた、しっかりした改革のビジョン(政策)を主張することができます。

野洲市でも願いを政策化し要求

県下の市町の中で高い野洲市の国保税。市が国保会計への繰り入れを減額したことが原因。引き下げのための建設的な提案をしています。新病院整備でも、市民アンケートを実施し、早期の病院整備を市議会で求めています。

政党助成金受けとらない政党だから、堂々と主張

日本共産党以外の政党が年間320億円もの政党助成金や企業・団体献金を受けとり政治を歪めています。

日本共産党は政党助成金を受けとらない唯一の政党です。だから、「国民が主人公」の清潔な政治をつらぬくことができます。

野洲市でも大企業に賃上げと雇用を要求

村田製作所9085億円、京セラ1兆5235億円の内部留保をためています。「大企業は社会的責任を果たせ。賃上げと雇用拡大へ、市が指導を」と市長にせまりました。企業から献金を受けない政党だから主張で

議員の役割は市政のチェックと要求実現です
なくってはならない**日本共産党の3議席**
議員の役割は、市政のチェックと市民の切実な願いの実現です。日本共産党は国政でも野洲市政でも、市民の目線で道理ある政策提言と市民のみなさんの願いの実現のためにと運動をすすめています。党創立以来90年、この立場で活動しています。

みなさんと、暮らしの要求実現へがんばります

- 新病院の早期整備をすすめ、市民の命と健康をまもります
- 消費税増税や社会保障制度の改悪に反対し暮らしをまもります。
- 中学校卒業までの通院医療費の無料化を実施します
- TPP参加に反対し、野洲市農業とくらし・営業をまもります
- 市内大企業に対して雇用拡大と賃上げを求めます
- “原発ゼロ”、大飯原発の再稼働をやめさせます
- 住宅リフォーム助成制度を実施し、中小企業を応援します



日本共産党演説会 ■5月25日(土)午後2時30分
■大津市・びわこホール

弁士
党衆議院議員
国会対策委員長

穀田恵二

お気軽に
ご参加ください

弁士
党滋賀県委員会
国民運動部長

坪田いくお

